

兵庫県下の経済動向

平成25年9月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まっている。輸出は持ち直しているほか、生産は業種別のばらつきを伴いつつ、下げ止まりの動きが見られる。公共投資は増加している。また、雇用・所得環境は改善に向かう動きがみられつつあるほか、個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月連続して前年を下回った。

乗用車販売は、軽乗用車、普通貨物車、軽貨物車およびバスが増加したものの、小型乗用車、普通乗用車および小型貨物車が減少し全体では4か月ぶりに前年を上回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業および非製造業ともに減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家が増加したが、分譲、給与が減少したことから、3か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、兵庫県、その他団体が増加したことから、4か月連続で前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア、米国およびEU向けが増加し、6か月連続で前年を上回った。また、輸入については8か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月連続で前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月と同水準であり、新規求人数は前年を下回った。

また、一人当たり名目賃金、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金は前年を上回って推移しており、貸出は前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

6月の兵庫DIは、先行指数28.6%、一致指数61.1%、遅行指数102.9%となった。

6月の兵庫CIは、先行指数86.1、一致指数93.4、遅行指数102.9となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月ぶりに50%を下回り、一致指数が4か月連続50%を上回った。

一方、兵庫CIは、2か月連続で前月差減、一致指数は2か月連続で前月差増、遅行指数は2か月連続で前月差増となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は上方への局面変化を示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

7月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は92.8、前月比3.3%増加。出荷指数は88.4、同0.9%減少。在庫指数は129.5、同2.1%増加。在庫率は156.2、同3.5%減少。生産指数は2か月連続で上昇、出荷指数は6か月連ぶりに減少、在庫指数は5か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が1.2%減で17か月連続、出荷は3.4%減と18か月連続で低下した。また在庫は2.3%減と7か月連続で低下した。

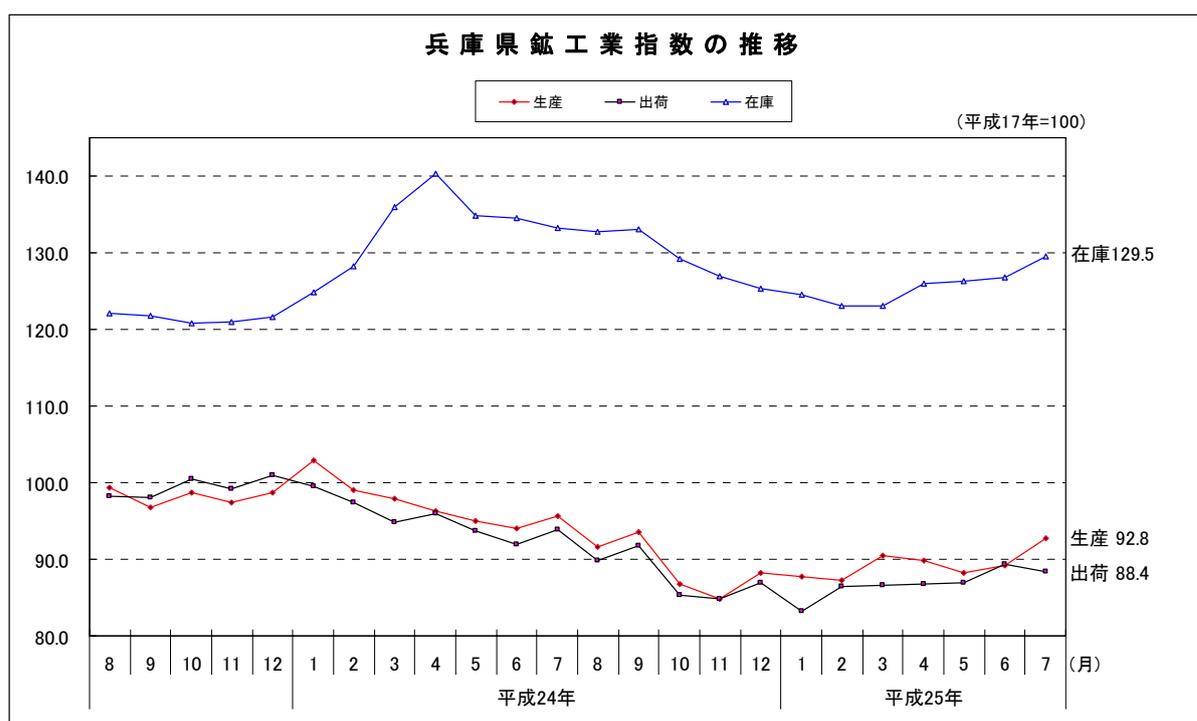
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、プレイバックロボット等の「一般機械工業」が10.1%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼業」が7.6%、ガス風呂がま等の「金属製品工業」が7.6%、線型半導体集積回路等の「電子部品・デバイス工業」が6.0%、化粧品等の「化学工業」が3.1%、電力変換装置等の「電気機械工業」が2.3%各々上昇し、テレメータ・テレコントロール等の「情報通信機械工業」が6.0%、ビール類等の「食料品工業」が2.8%、特装ボデー等の「輸送機械工業」が1.4%各々低下した。

県統計課は、基調判断を「一部に持ち直しの動きが見られる」とした。

7月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	92.8	3.3	94.1	▲ 1.2
出 荷	88.4	▲ 0.9	91.3	▲ 3.4
在 庫	129.5	2.1	129.6	▲ 2.3
在 庫 率	156.2	▲ 3.5	143.8	4.7

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



月の県内鉱工業生産指数(主要 9 業種の動向)

(速報、平成 17 年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	93.7	7.6	上昇	普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、粗鋼、鋼半製品
			低下	鍛鋼品、小型棒鋼、普通鋼冷間仕上鋼材（磨棒鋼・線類）
金属製品	82.0	7.6	上昇	ガス風呂がま、石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器
			低下	PC鋼より線、スチール・ステンレスドア
一般機械	102.2	10.1	上昇	プレイバックロボット、蒸気タービン部品
			低下	数値制御旋盤、反応用機器、液圧プレス、水管ボイラ
電気機械	131.1	2.3	上昇	電力変換装置、開閉制御装置、非標準油入り変圧器
			低下	一般用タービン発電機、プログラマブルコントローラ
情報通信 機械	73.5	▲ 6.0	上昇	カーナビゲーション、パーソナルコンピュータ
			低下	テレメータ・テレコントロール、携帯電話
電子部品 デバイス	78.1	6.0	上昇	線形半導体集積回路、電界効果型トランジスタ
			低下	シリコンウエハ、レーザダイオード、IGBT
輸送機械	70.0	▲ 1.4	上昇	機関部品、ショベルトラック、船用ディーゼル機関
			低下	特装ボデー、旅客車、特殊自動車、二輪自動車
化 学	82.3	3.1	上昇	化粧品、酢酸（99%換算）、純ベンゼン、無水酢酸
			低下	石油化学品製造用触媒、塩化ビニル（モノマー）
食 料 品	99.8	▲ 2.8	上昇	パン類、肉製品、即席めん、冷凍調理食品
			低下	ビール類、めん類、砂糖、精米

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた8月の県内百貨店売上高は、前年同月比3.6%減の145億29百万円で、2か月連続で減少した。猛暑で秋物衣料品の立ち上がりが遅れたことや、近隣に開業した大型商業施設の影響などで売り上げを落とした。

神戸地区は3.6%減。衣料品や食料品が売り上げを落とす一方、貴金属など高級品は好調が続いている。

姫路・加古川地区は3.7%減。JR駅前の商業施設「piole（ピオレ）姫路の影響が続いており、若者向けの婦人服などが売り上げを落とした。

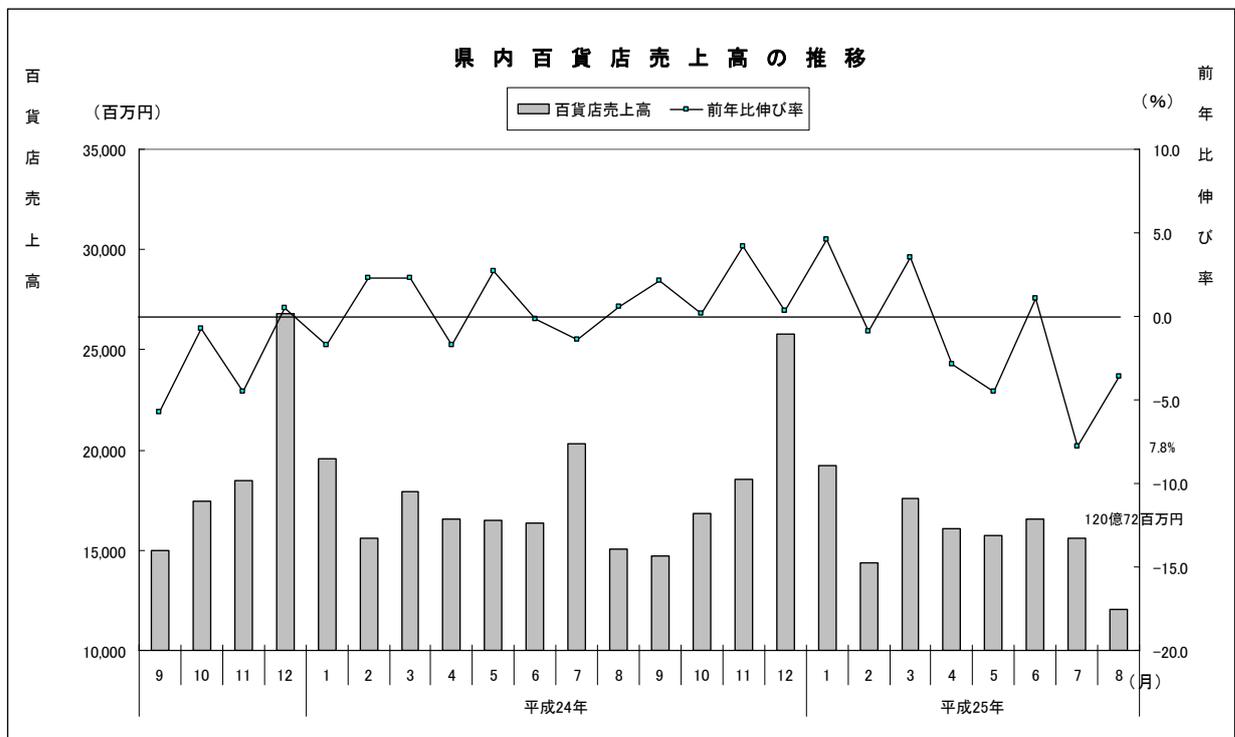
8月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	454(▲0.3)	115(▲5.8)	570(▲1.5)
婦人服・洋品	3,287(▲3.0)	475(▲10.3)	3,762(▲4.0)
子供服・洋品	213(▲10.6)	73(▲3.7)	286(▲9.0)
身の回り品	1,172(▲5.7)	233(▲4.0)	1,406(▲5.4)
家庭用品	492(▲5.7)	118(▲11.6)	611(▲6.9)
食料品	4,059(▲5.1)	839(3.6)	4,899(▲3.7)
雑貨	1,687(0.5)	299(▲4.6)	1,987(▲0.3)
その他	704(▲2.2)	299(▲5.8)	1,004(▲3.3)
計	12,072(▲3.6)	2,456(▲3.7)	14,529(▲3.6)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内8月の乗用車新車登録台数は11,926台、前年同月比1.4%増と4か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

8月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,167台(前年同月比1.4%減)、小型乗用車は3,466台(同3.1%減)、軽乗用車は4,293台(同8.5%増)、乗用車合計で11,926台(同1.4%増)となった。

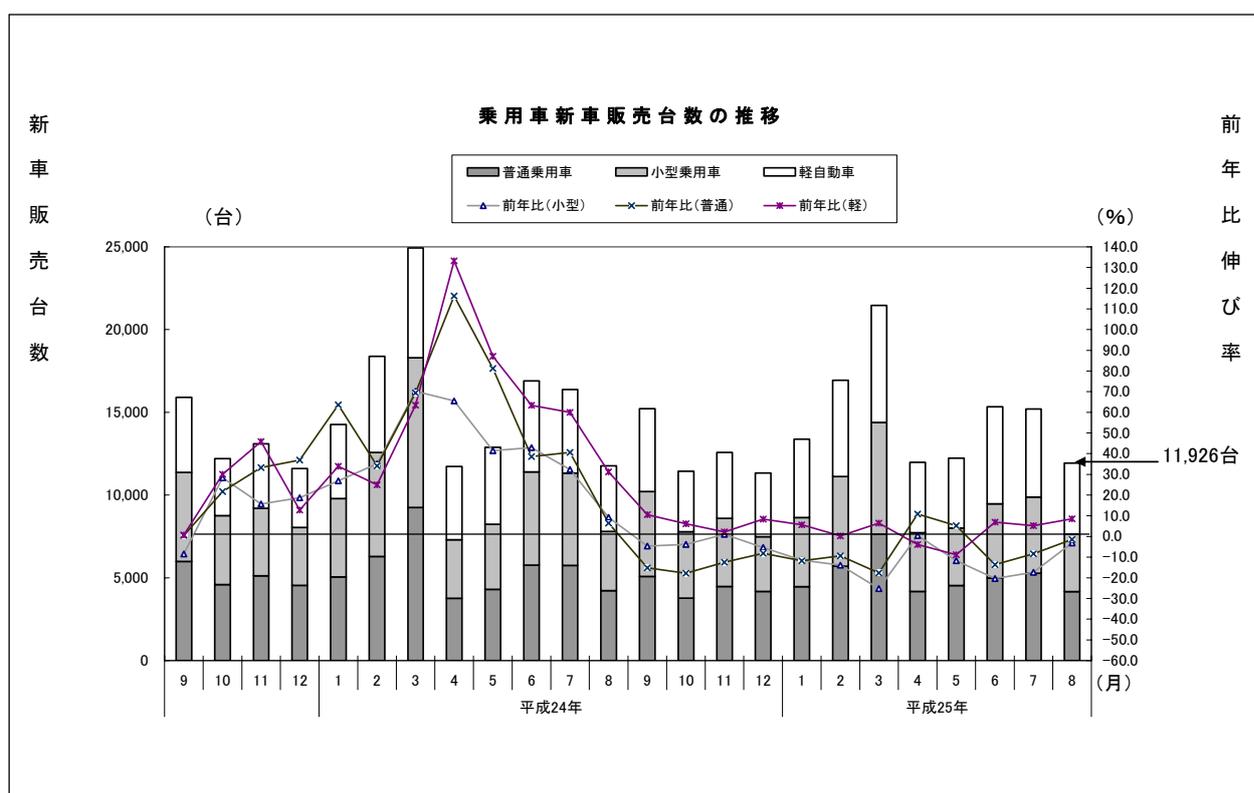
また貨物車等では、普通貨物車は272台(同8.8%増)、小型貨物車は511台(同1.4%減)、軽貨物車は926台(同3.9%増)、バスは28台(同154.5%増)となった。

8月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,167	▲ 1.4	92,739	▲ 5.7
小型乗用車	3,466	▲ 3.1	96,128	▲ 9.8
軽乗用車	4,293	8.5	121,822	▲ 7.9
乗用車合計	11,926	1.4	310,689	▲ 1.6
普通貨物車	272	8.8	10,675	12.2
小型貨物車	511	▲ 1.4	16,937	▲ 0.5
軽貨物車	926	3.9	27,528	▲ 0.4
貨物車合計	1,709	3.0	55,130	1.2
バス	28	154.5	932	12.2
登録車総計	13,663	1.7	366,751	▲ 1.1

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が9月12日に発表した機械受注統計によると、平成25年7月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年6月前月比14.3%減の後、25年7月は同4.4%増の2兆291億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、6月前月比2.7%減の後、7月は同0.0%減の7,772億円となった。

内訳をみると、製造業が同4.8%増の3,187億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同0.0%増の4,624億円であった。

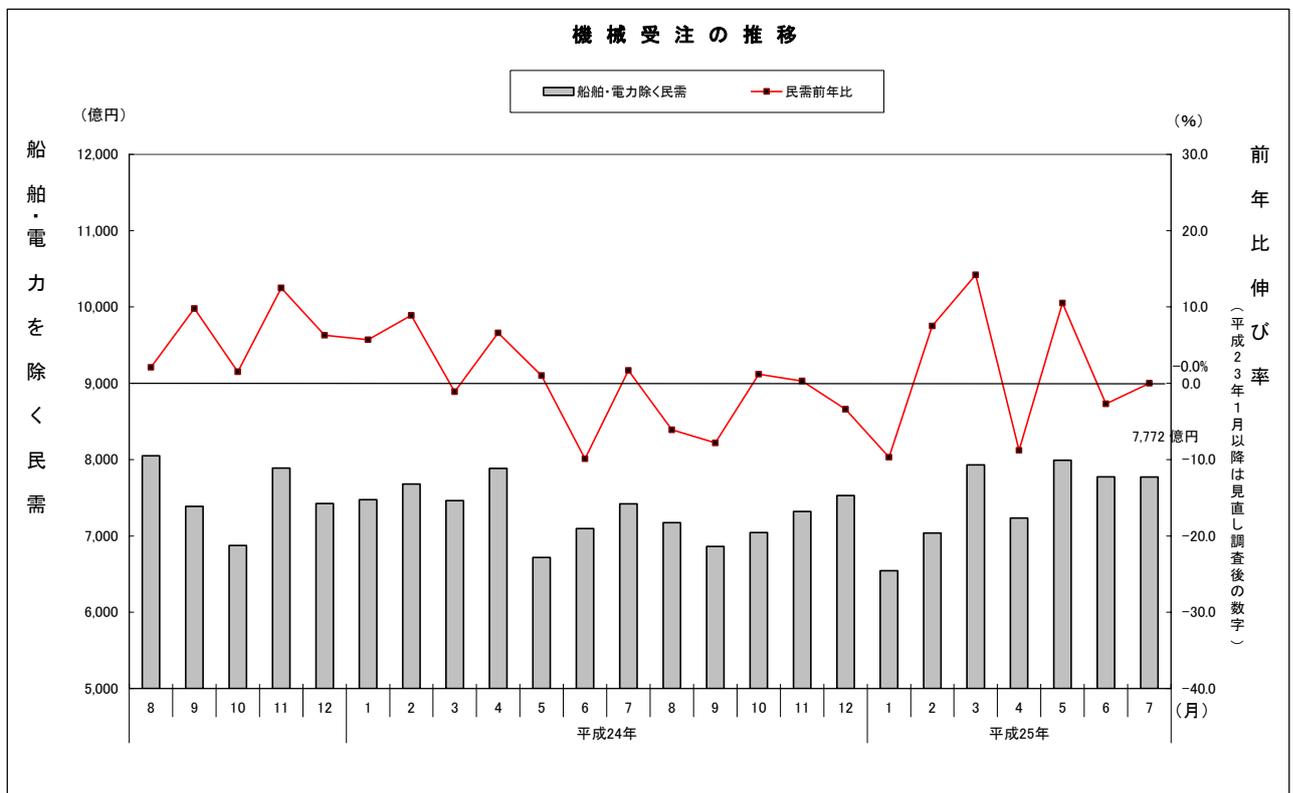
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(993.2%増)、非鉄金属(202.0%増)、鉄鋼業(85.4%増)、金属製品(20.7%増)等の7業種で、造船業(43.7%減)、食品製造業(31.6%減)、その他輸送用機械(30.4%減)、化学工業(15.2%減)等の8業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(64.5%増)、情報サービス業(27.6%)、鉱業・採石業・砂利採取業(23.1%増)、通信業(20.4%増)等の6業種で、運輸業・郵便業(12.3%減)、不動産業(12.2%増)、金融業・保険業(10.7%減)、電力業(5.3%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年6月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比+2.1%（製造業+0.4%、非製造業9.2%）



機械受注統計 (平成25年7月分)

	24年 7~9月 実績	10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	25年 4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	54,382 (-8.4) [-8.3]	56,379 (3.7) [-9.7]	60,410 (7.1) [-5.3]	62,406 (3.3) [4.7]	58,820 (-5.7) [8.0]	20,267 (-14.2) [-4.3]	22,696 (12.0) [18.1]	19,443 (-14.3) [2.7]	20,291 (4.4) [5.3]
民需	25,526 (-2.2) [-7.1]	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 (0.5) [-2.0]	26,754 (5.0) [2.5]	24,699 (-7.7) [-3.8]	8,411 (-12.4) [-10.5]	9,455 (12.4) [15.5]	8,888 (-6.0) [4.8]	9,192 (3.4) [3.6]
〃 (Ex 船・電)	21,715 (-1.3) [-4.6]	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	22,999 (6.8) [6.4]	21,772 (-5.3) [0.1]	7,233 (-8.8) [-1.1]	7,992 (10.5) [16.5]	7,774 (-2.7) [4.9]	7,772 (-0.0) [6.5]
製造業	9,031 (-1.3) [-9.5]	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-1.7) [-12.1]	8,875 (5.6) [-4.2]	8,525 (-3.9) [-3.5]	2,862 (-7.3) [-9.8]	2,971 (3.8) [-6.2]	3,042 (2.4) [2.4]	3,187 (4.8) [-2.0]
非製造業 (Ex 船・電)	12,772 (-0.3) [-1.3]	13,491 (5.6) [7.4]	13,072 (-3.1) [2.8]	14,701 (12.5) [14.1]	13,580 (-7.6) [4.6]	4,472 (-6.0) [4.8]	5,607 (25.4) [34.3]	4,623 (-17.5) [6.6]	4,624 (0.0) [13.0]
官公需	7,202 (-6.3) [18.1]	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 (0.1) [-6.9]	8,668 (24.7) [7.4]	8,595 (-0.8) [-17.1]	2,485 (-6.3) [-8.0]	3,599 (44.8) [51.1]	2,584 (-28.2) [0.7]	2,917 (12.9) [23.5]
外需	20,593 (-10.5) [-18.0]	21,246 (3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	24,837 (4.9) [7.8]	22,437 (-9.7) [18.9]	8,217 (-19.9) [6.7]	9,066 (10.3) [17.1]	7,553 (-16.7) [0.1]	7,660 (1.4) [4.4]
代理店	2,720 (-1.4) [11.7]	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [4.2]	2,643 (-11.9) [-4.1]	2,945 (11.4) [9.3]	748 (-38.2) [-16.6]	918 (22.7) [-1.6]	978 (6.6) [5.3]	949 (-3.0) [-4.4]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内7月の新設住宅着工戸数は、総数で3,100戸(前年同月比1.6%増)となり、持家、貸家が増加したが、分譲住宅、給与住宅は減少し全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では161戸の増加となった。

7月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,041	2.0	31,475	11.1
・分譲住宅	894	▲ 27.9	21,361	4.3
貸家系・貸家	1,157	37.9	31,012	19.4
・給与住宅	8	▲ 84.6	611	▲ 1.3
総数	3,100	▲ 1.6	84,459	12.0

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

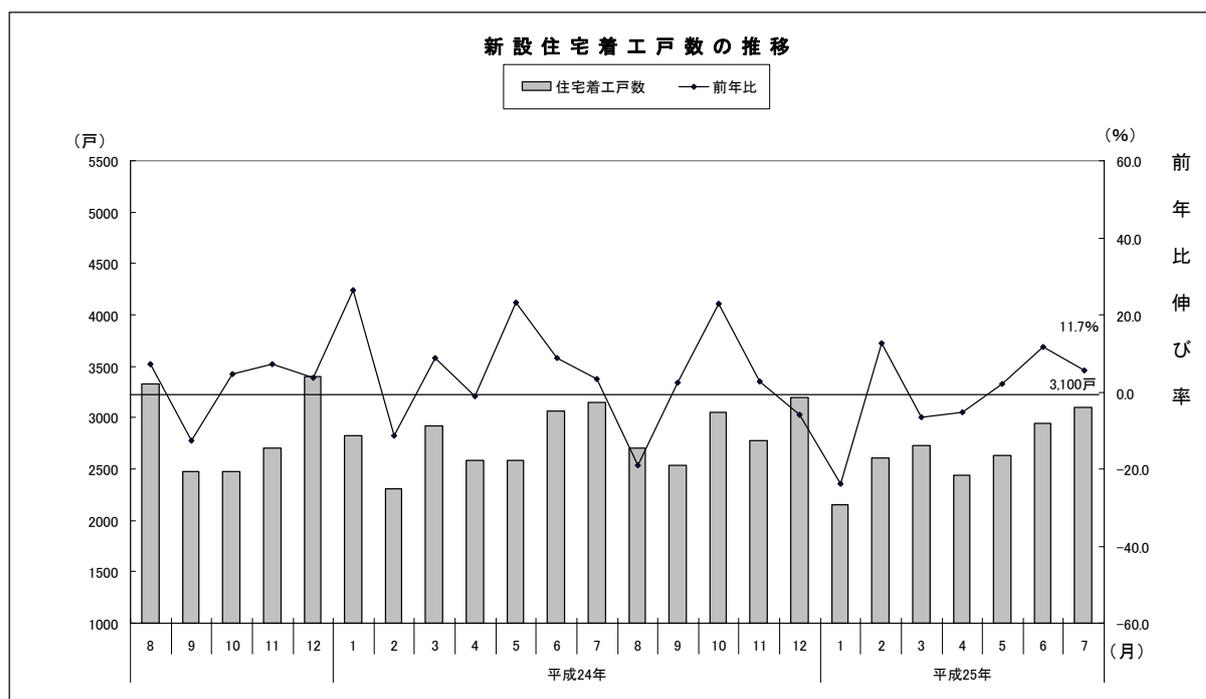
7月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,018	615	292	410	180	303	120	61	43	58	3,100
前月比	231	-43	19	47	85	-114	-36	-25	-6	3	161

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年7月の新設住宅着工累計は、総数で3,100戸、前年同期比161戸の増加となった。利用関係別では「持家」が1,041戸(前年同期比2.0%増)、「分譲住宅」が894戸(同27.9%減)、「貸家」が1,157戸(同37.9%増)、「給与住宅」が8戸(同84.6%減)となった。



【公共工事】

8月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は507件で前年同月比26.4%の増加、請負金額は272億円で同52.9%の増加となり、金額ベースでは4か月連続前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他団体」が前年同月比194.3%、「国」同117.6%、「独立行政法人等」同55.0%、「神戸市を除く市町」同75.4%、「神戸市」同26.4%、「兵庫県」同1.6%が増加となり、前年同月を上回った。

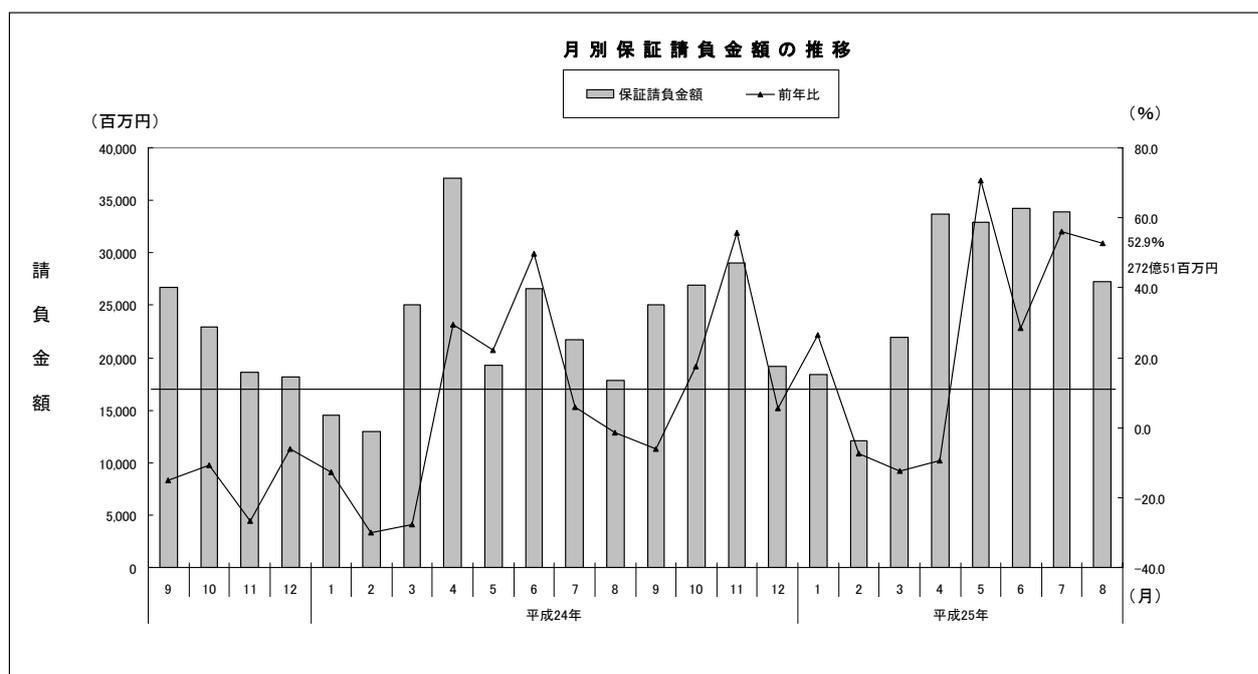
地域別(金額ベース)では、東播磨(同78.0%)、北播磨(同73.3%)、阪神南(同66.7%)、丹波(同60.0%)、中播磨(同45.9%)、神戸市(同41.0%)、西播磨(同22.9%)で増加となった。

8月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	43(72.0)	4,101(117.6)	
独立行政法人等	21(31.3)	3,166(55.0)	
兵庫県	150(27.1)	6,375(1.6)	
神戸市	48(2.1)	2,236(▲26.4)	
神戸市を除く市町	197(18.7)	8,617(75.4)	武庫東小学校校舎棟改築等工事 都計工第25-1号若人の広場公園整備工事
その他の団体	48(65.5)	2,754(194.3)	八鹿日高道路三谷トンネル(北側)工事 蓄積リング棟熱源機器更新機械設備工事
合計	507(26.4)	27,251(52.9)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年8月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,811億円、前年同月比8.3%の増加で、総額ベースで6か月連続増額となった。輸出は、金属加工機械などが減少したものの、プラスチックなどが増加した。一方、輸入は、鉱物性燃料などが減少したものの、半導体等電子部品などが増加した。

輸出は4,340億円(前年同月比7.7%増)と6か月連続で増加した。

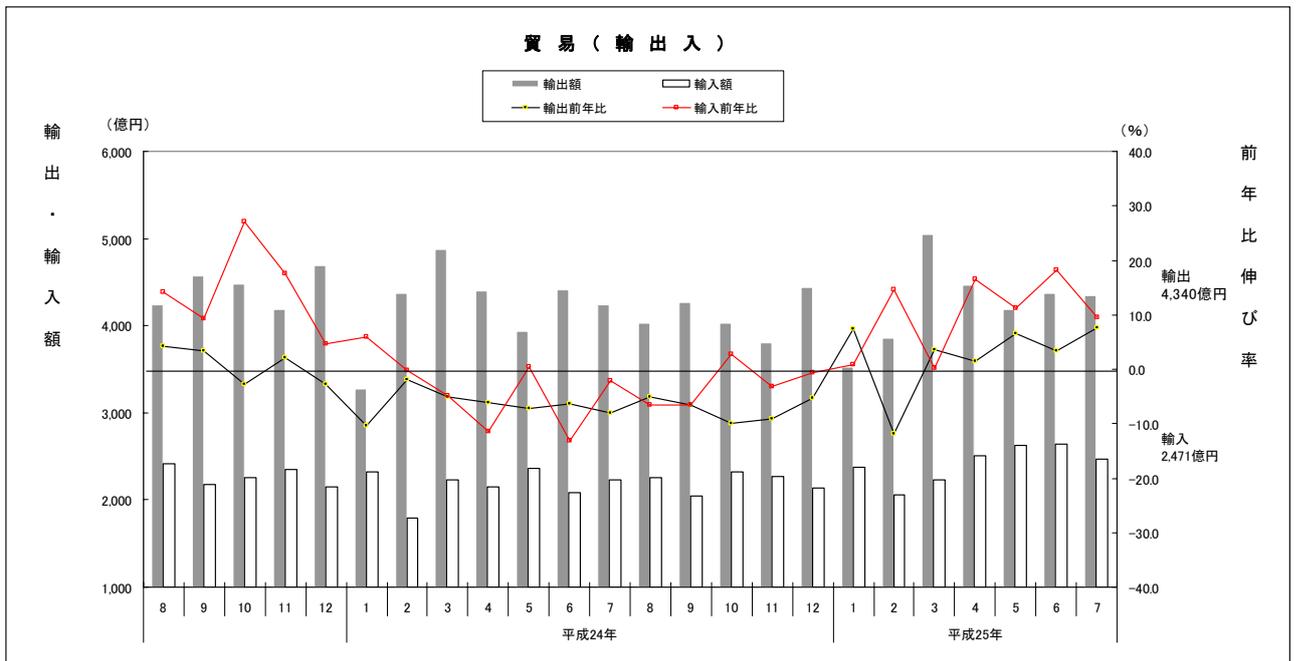
主要品目では、プラスチック(同15.7%増、8か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(前年同月比15.5%増、6か月連続プラス)が増加し、原動機(同5.1%減、2か月ぶりにマイナス)、建設用・鉱山用機械(同2.9%減、6ヶ月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(同26.9%増、3か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同7.4%増、2か月連続プラス)、中国(同2.0%増、2か月連続プラス)、米国(前年同月比0.9%増、14か月連続プラス)が増加した。

輸入は2,471億円(前年同月比9.5%増)と8か月連続で増加した。

主要品目では、衣類および同付属品(前年同月比5.3%増、5か月連続プラス)、有機化合物(同1.1%増、5か月連続プラス)が増加し、たばこ(同6.1%減、4か月連続マイナス)、非鉄金属(同1.3%減、4か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比13.6%増、9か月連続プラス)、中国(同11.7%増、5か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同10.6%増、5か月連続プラス)、米国(同7.1%増、5か月連続プラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

8月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.2(平成22年=100)となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.4%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.4となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.3%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.5となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.3%下落となった。

前月からの動きを見ると、野菜・海草などの値下がりにより「食料」が0.5%、シャツ・セーター・下着類などの値下がりにより「被服及び履物」が0.8%、理美容用品などの値下がりにより「諸雑費」が0.3%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.2%、それぞれ下落した。

しかしながら、交通などの値上がりにより「交通・通信」が1.2%、教育娯楽サービスなどの値上がりにより「教育娯楽」が0.9%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.4%、保健医療用品・器具などの値上がりにより「保険医療」が0.4%それぞれ上昇した結果、総合では0.2%の上昇となった。

8月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.2	97.3	101.5	115.5	95.9	98.8	98.0	101.6	101.0	95.7	102.9	100.4	99.5
前月比	0.2	-0.5	0.0	0.4	-0.2	-0.8	0.4	1.2	0.0	0.9	-0.3	0.2	0.2
前年同月比	0.4	-0.7	-0.4	8.3	0.3	0.9	-0.2	2.1	0.8	-2.3	0.2	0.3	-0.3

(注)平成22年=100

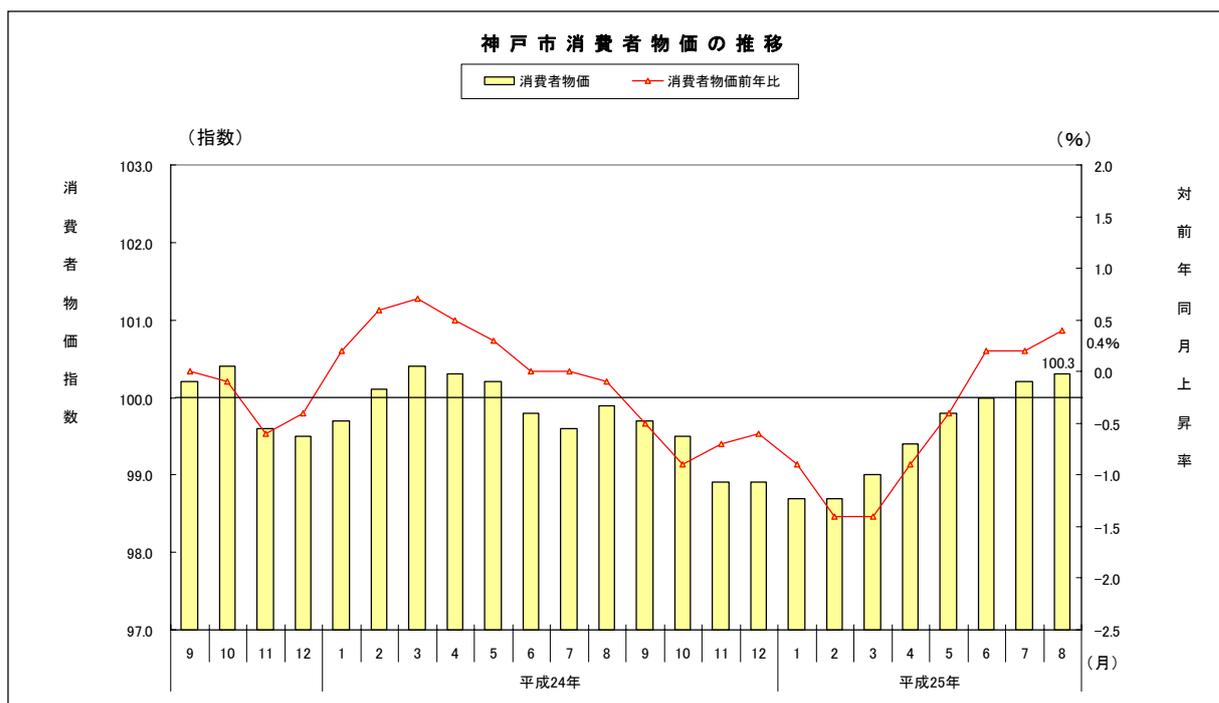
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 交通 (+ 2.7%)・・・航空運賃、JR料金(新幹線、在来線)
- 教養娯楽サービス (+ 2.2%)・・・宿泊料、外国パック旅行

○対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (▲ 2.8%)・・・トマト、キャベツ、ピーマン
- シャツ・セーター・下着類(▲ 3.0%)・・・婦人・子供Tシャツ(半袖)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が9月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年8月の企業物価指数は次のとおり。

8月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.5	0.3	2.4
輸 出 物 価	106.0	▲ 1.2	12.6
輸 入 物 価	121.8	▲ 1.0	17.6

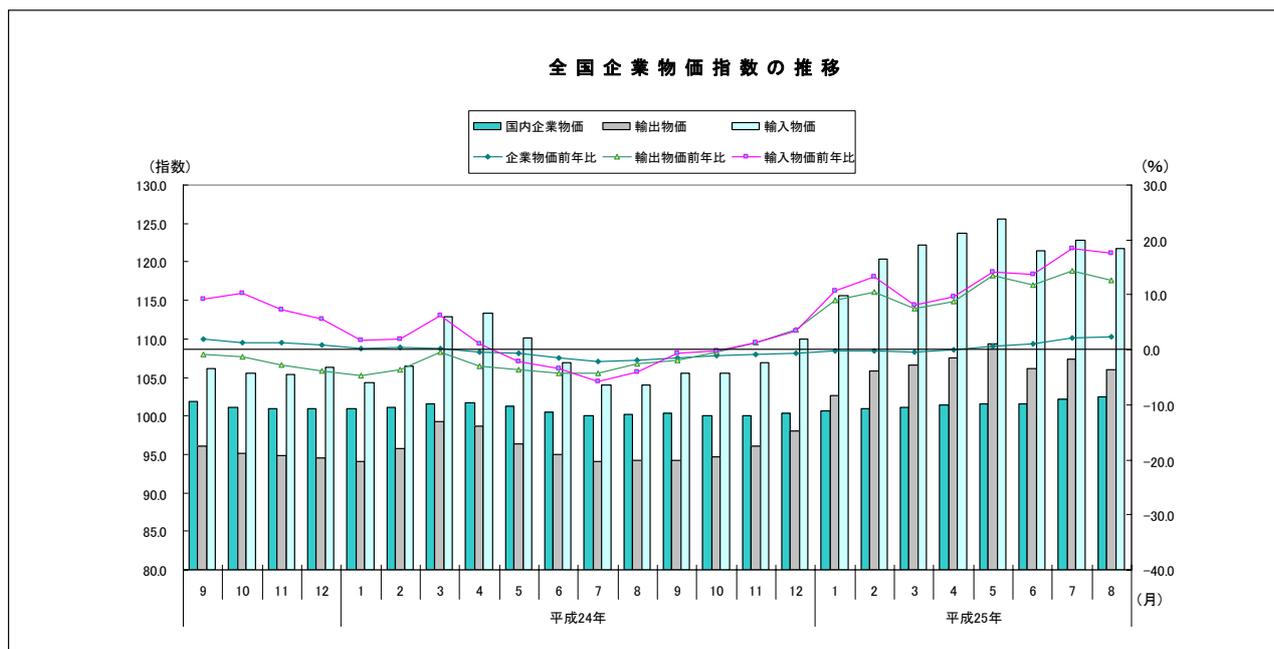
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電子部品・デバイス（前期比▲0.4%＜モス型メモリ集積回路など＞）が下落したが、スクラップ類（同+3.8%＜鉄くず、古紙など＞）、石油・石炭製品（前月比+1.8%＜ガソリン、軽油など＞）、業務用機器（同+1.6%＜娯楽機器など＞）等が上昇し、全体では前月比0.3%の上昇となった。

8月は前年同月比2.4%上昇となり、2008年11月以来4年9か月ぶりの高い伸びになった。急激な原油高に見舞われた08年に比べ、消費者に近い最終消費財の上昇が目立つ。

輸出物価は、電気・電子機器（前月比▲0.15%＜モス型メモリ集積回路など＞）、輸送用機器（同▲1.3%＜普通乗用車など＞）、化学製品（同▲1.1%＜スチレンモノマーなど＞）等が下落し、円ベースでは前月比▲1.2%の下落（前年同月比+12.6%）となった。

輸入物価は、はん用・生産用・業務用機器（前月比+0.4%＜冷凍機など＞）が上昇し、輸送用機器（同▲1.1%＜普通乗用車など＞）、金属・同製品（同▲1.3%＜銅鉸、銅・同合金くずなど＞）、電気・電子機器（同▲1.3%＜モス型メモリ集積回路など＞）、石油・石炭・天然ガス（同▲1.1%＜原油など＞）、繊維品（同▲0.3%＜セーターなど＞）等が下落し、円ベースでは前月比1.0%の下落（前年同月比+17.6%）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内7月の新規求人数(全数)は、27,595人(前年同月比11.3%減)で、2か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は69,899人(同4.7%増)で39か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比5.3%増で3か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同16.0%増で2か月ぶりに前年を上回った。また臨時・季節では同47.3%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比23.1%増)、製造業(同10.5%増)、情報通信業(同2.8%増)、運輸業、郵便業(同12.4%増)、卸売業、小売業(同5.4%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同4.4%増)、宿泊業、飲食サービス業(同11.8%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同19.0%増)、医療、福祉(同11.8%増)、サービス業(同8.7%増)は前年を上回った。

(2) 求職状況

7月の新規求職申込件数(全数)は、21,944件(前年同月比2.1%増)で、3か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は98,581人(同5.1%減)で38か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比2.8%増で3か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.0%増で3か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比36.2%減3か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比16.6%増で2ヶ月ぶり、自己都合離職者は同6.1%増で3か月ぶりに前年を上回ったが、事業主都合離職者は同8.7%減で6か月連続、自営・他は同18.8%減で26か月連続、無業者は同5.4%減で19か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、27,311人(前年同月比7.1%減)で、6か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

7月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.21倍で前月と同水準となり、有効求人倍率については0.76倍で前月と同水準となった。

(4) 失業者の状況

7月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.8%、完全失業者数(原数値)は255万人(前年同月比33万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.8%(前年同月比1.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は40万人(前年同月比10万人減)となった。

【信用保証】

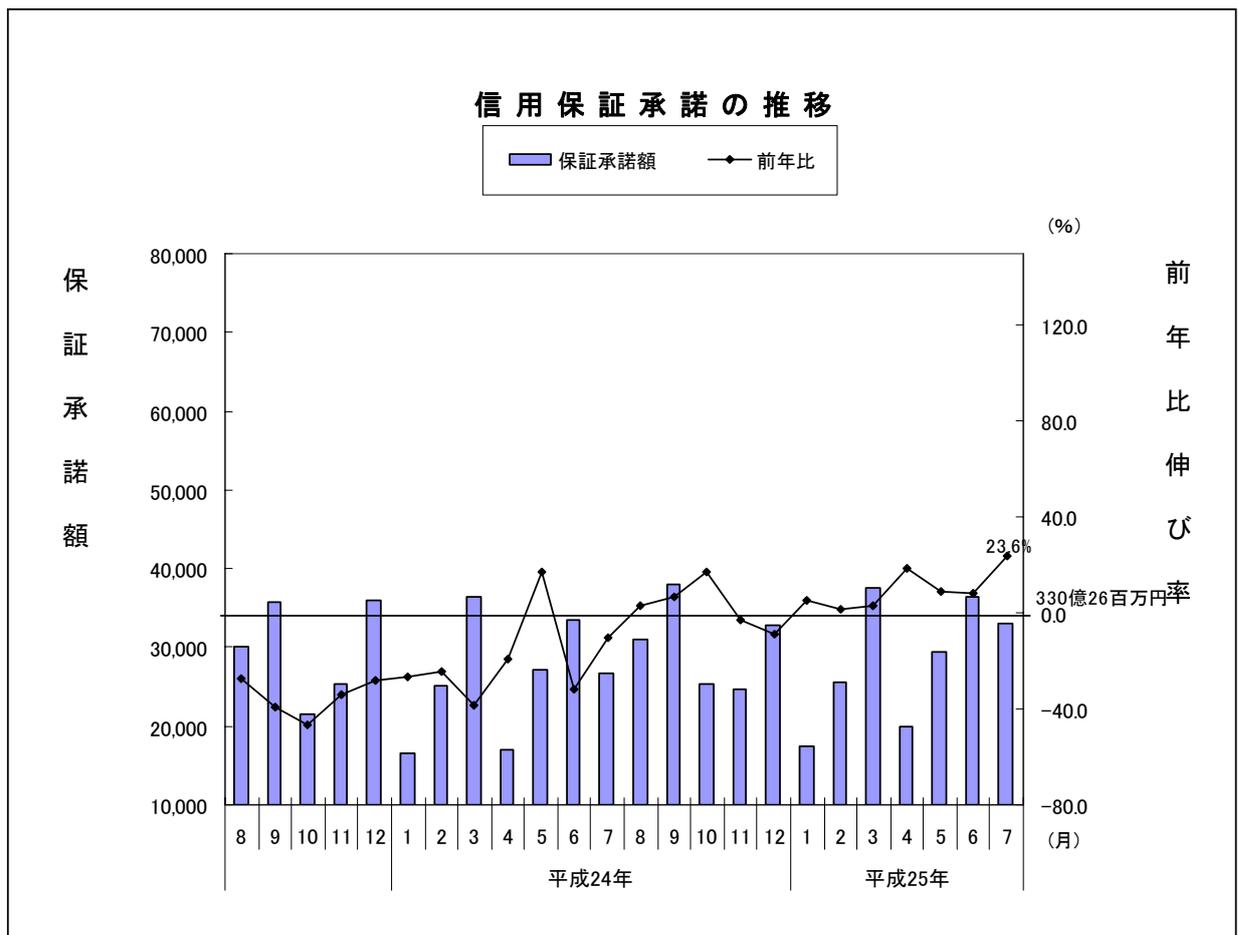
兵庫県信用保証協会による7月の保証承諾実績は、件数で1,878件(前年同月比9.8%増)、金額は330億26百万円(同23.6%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金30,705百万円(前年同月比26.2%増)、設備資金879百万円(同38.7%増)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「小売業」4,151百万円(前年同月比42.7%増)、「運送・倉庫業」1,642百万円(同38.7%増)、「建設業」9,246百万円(同37.2%増)、「飲食店」820百万円(同33.5%増)、「製造業」6,278百万円(同19.6%増)、「卸売業」6,145百万円(同12.6%増)、「サービス業」3,487百万円(同6.6%増)、「不動産業」212百万円(前年同月比%0.4減)で前年同月を上回った。

一方、同月の代位弁済は、212件(前年同月比7.4%減)、21億88百万円(同23.4%増)となった。

7月末の保証債務残高は、104,442件(前年同月比6.7%減)、1兆1,975億円(同8.4%減)となった。



【金融】

7月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	145,437	3.2	54,639	▲ 2.4
地方銀行	25,016	4.9	21,172	6.0
第二地方銀行	32,109	2.3	20,226	2.9
信用金庫	80,121	1.0	37,358	▲ 1.3
その他	17,519	2.5	17,261	1.2
計	300,202	2.6	150,656	0.1

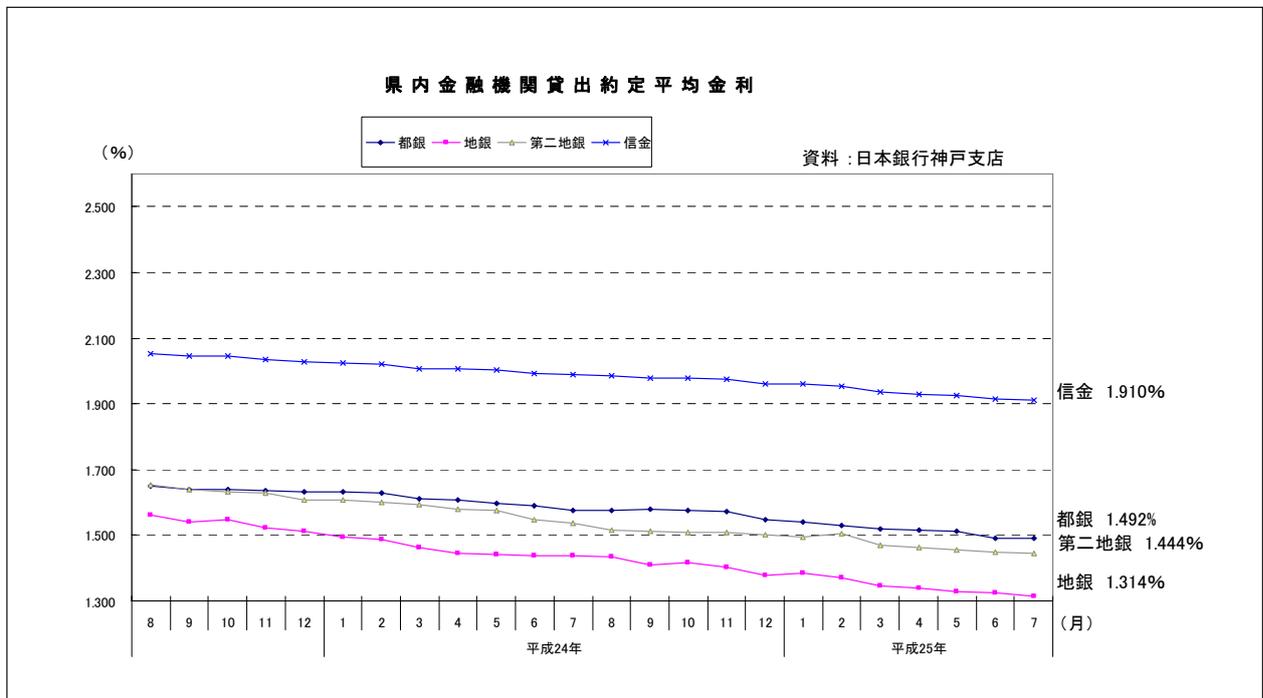
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

7月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.6%)

7月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.1%)

7月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(7月末水準 1.604%、前月比▲0.002%ポイント)。



【倒 産】

県内8月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は42件で前年同月比31.1%の減少、負債総額は42億34百万円で同2.27%の増加となった。

倒産件数は、2か月ぶりに減少となり、件数は前月比4件の増加となったが、3か月ぶりに40件を上回った。8月単月では過去10年間(平成16年以降)で最小となった。負債総額10億円以上の大型倒産はなく、8月単月では過去10年間では2番目に少ない金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が34件(全体の81.0%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が12件(前年前月比5件減少)でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が27件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「建設」が12件でトップ、「卸売」が8件と続いて多い。

県下の企業倒産は、8月度の件数が3か月ぶりに40件台に乗せたが、本年1月から8月までの累計では352件。これは昨年と比較して73件の減少となり、過去10年間においては最少で、引き続き件数、負債額共に低水準で推移している。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了したが、4月以降件数が前年同月比増加となったのは5月の1回のみで、同法終了後も企業倒産が増加に転じる気配は見られない。その背景には金融機関の貸し出し姿勢に大きな変化が見られないことや、企業再生を柱とする多様な中小企業支援策等が寄与していると見られる。したがって、企業倒産は貴重として鎮静状態が続くものと思われ、今しばらくは倒産件数の急増はないものと考えられる。

8月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	6	7	-1	5	1	建設業	12	8	4	17	-5
過小資本	1	1	0	1	2	製造業	6	4	2	10	-4
連鎖倒産	1	3	-2	1	2	卸売業	8	6	2	8	0
赤字累積	9	3	6	15	-6	小売業	6	6	0	6	0
販売不振	24	23	1	36	-12	情報通信業	1	1	0	0	1
売掛金回収難	1	1	0	0	1	サービス業	7	10	-3	14	-7
その他	0	0	0	2	-2	不動産・運輸業他	2	3	-1	6	-4
合計	42	38	4	51	-9	合計	42	38	4	61	-19

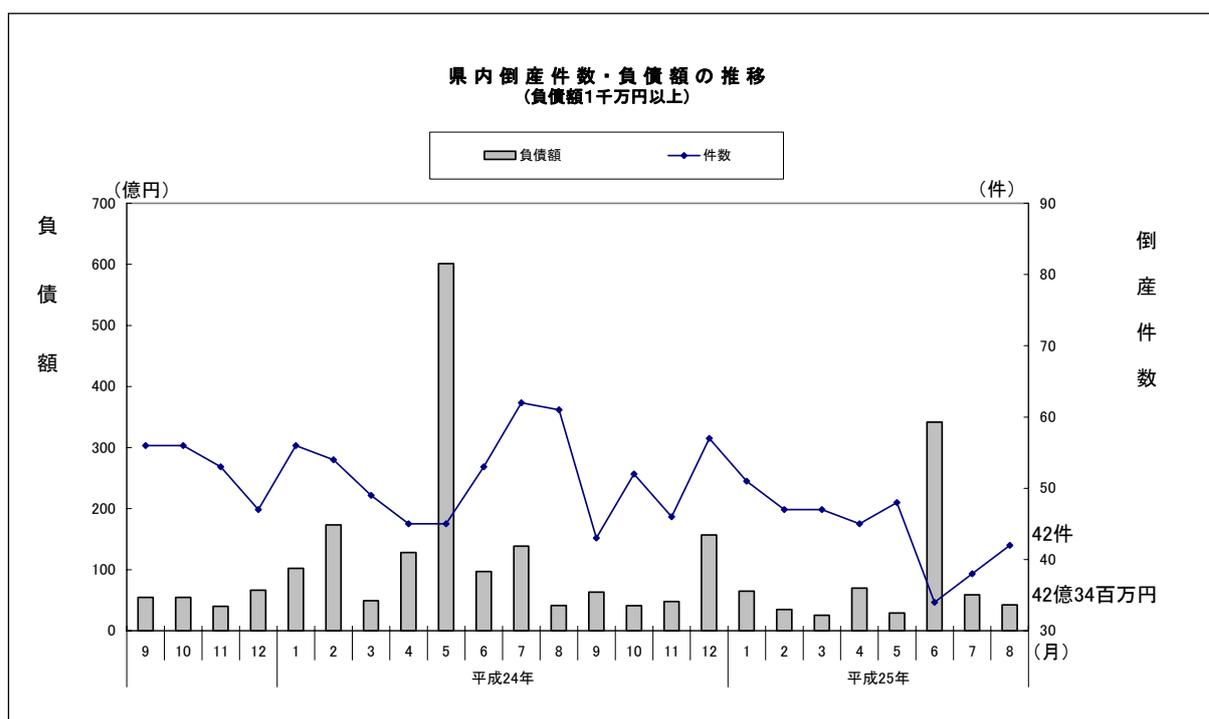
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	86.2	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	86.9	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	90.3	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	89.2	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	88.2	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	89.8	1.1	94.7	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	p 92.8	3.3	97.9	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月					272	52.9	7.9			
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,509	16.6
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,627	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,331	11.7
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6		p 4,339	7.7	p 2,471	9.5
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	r 99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	p 99.8	-0.4	99.8	-0.3
6月			1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.1	99.8	0.2
7月							100.2	0.6		
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	r 101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	p 101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	p 101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	p 102.1	2.2				38	58	17	7	14
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値